

出典：http://www.cdc.gov/ncidod/dhqp/ar_acinetobacter.html

医療施設における薬剤耐性アシネトバクター感染の概要

2004年9月24日発行

新潟県立六日町病院麻酔科 市川高夫 訳

アシネトバクターとは？

アシネトバクター(*ass in ee toe back ter*)は、土や水の中に普通に見られる細菌のグループです。それはまた、健康な人、特に医療従事者の皮膚上に検出されます。アシネトバクターには多くの型つまり「種」があり、全てがヒトの疾病の原因となり、アシネトバクター・バウマニが報告された感染の約80%を占めます。アシネトバクター感染のアウトブレイクは大抵、ICUや重症患者を収容している医療施設で発生します。アシネトバクター感染は医療施設の外ではほとんど発生しません。

アシネトバクター感染の徴候はどのようなものですか？

アシネトバクターは肺炎から深刻な血液あるいは創感染までの様々な疾患を引き起こし、その症候は疾患によってさまざまです。肺炎の典型的な徴候は、発熱、悪寒あるいは咳を含むこともありえます。アシネトバクターはまた「保菌」つまり、感染や徴候を起こさないで患者の中、特に気管切開部や開放創に生存するかもしれません。

ヒトはどのようにアシネトバクター感染となりますか？

アシネトバクターは、健康な人にはほとんど危険ではありません。しかし、免疫システム低下、慢性肺疾患あるいは糖尿病のヒトは、アシネトバクターに非常に感受性があります。アシネトバクターは、ヒトからヒトの接触、汚染した環境表面との接触あるいは環境からの曝露によって感受性のあるヒトに広がります。

アシネトバクター感染はどのように治療されますか？

アシネトバクターは大抵、普通に処方される多くの抗菌薬に耐性があります。アシネトバクターによる感染の治療の決定は、医療従事者によってケースバイケースでなされます。アシネトバクター感染は一般に非常に重症な患者に発生し、これらの患者で死亡の原因あるいはそれに結びつく可能性があります。

アシネトバクター感染を他に広げないために何をすべきですか？

アシネトバクターは皮膚の上で生存でき、環境でも数日間生存するかもしれませんが。手指衛生と環境のクリーニングのような感染管理実施に対する慎重な注意が、伝播のリスクを減少させることができます。感染管理実施と手指衛生についての更なる情報について、「医療施設における手指衛生 (<http://www.cdc.gov/handhygiene/>)」と「病院における隔離予防策のためのガイドライン (<http://www.cdc.gov/hicpac/2007IP/2007isolationPrecautions.html>)」を参照してください。

最終更新日：2004年9月24日

出典：医療質推進部門(DHQP)

国立感染症準備・発見・管理センター